

神奈川県 の 羊 歯 植 物

(1)

大 谷 茂*

Fern Flora of the Kanagawa Prefecture, Japan.

(1)

Shigeru OHTANI*

(with 2 Plates)

I. 緒 論

近年、羊歯植物の分類や分布の研究が一段と振興し急速の発展をみるにいたった。著者が先に発表した神奈川県の羊歯植物 (1958) も今日増補訂正の必要にせまられた。そこで著者はとりあえず日本シダの会会報にその略目録を発表した (1965)。ここに著者はこの略目録を基にして神奈川県羊歯植物の本目録に着手した。従ってこの報告は県内における羊歯植物の最新の記録である。

ここにあげた分布資料 (標本産地) は、おもに著者の検し得た腊葉標本によったものであるが、一部は信頼できる文献により、また著者の調査記録や自生地確認によったものである。なかにはその地域で、すでに滅びたものもあり、また先人の過誤の改められたりしたものもある。従ってこの報告は現在の分布を把握するとともに神奈川県羊歯植物の分布の歴史を具体的にたどることができるのである。しかしながら今日の著者の知見も、まだ終結に遠いことはいうまでもない。各種の生活型と繁殖型の略号は次の通りである。

著者がこの報告を発表するにあたって、分布の調査、標本の寄贈、あるいは閲覧、および同定などに多くの方々の助言や指導を受けたのであって、これら関係各位に深く謝意を表する。

Life form (e) Evergreen 常緑。 (d) Deciduous 夏緑。

Mc Microphanerophytes 冬芽の位置が 2~7.5 m までの地上植物。

Ch Chamaephytes 冬芽の位置が 0~0.25 m までの地表植物。

H Hemicryptophytes 冬芽が地表に密接する半地中植物。

G Geophytes 冬芽が、まったく地中にある地中植物。

E Epiphytes 着生するもの, (Et) 樹上, (Er) 岩上, (Ep) 崖や急斜面。

L Lianes つる性のもの, (er) 直立, (de) 伏臥, (te) 登攀。

* Yokosuka City Museum, Yokosuka, Japan. 横須賀市博物館。

Collections Examined;

T, Department of Botany, Faculty of Science University of Tokyo.

ToFo, Forest Botany, Faculty of Agriculture, University of Tokyo.

N, National Science Museum, Tokyo.

MHT, Makino Herbarium, Tokyo Metropolitan University.

YCM, Yokosuka City Museum, Yokosuka.

HH Hydrophytes and Helophytes 水中や水湿に生ずるもの。

Th Therophytes 1年生のもの。

Reproductive form

D₁ Dissemminule type, Anemochore 風によって胞子が散布されるもの。

Hydrochore 水によって胞子が散布されるもの。

D₂ Blastochore type 胞子繁殖の見られないもの。

R Radicoid type 根茎によって栄養繁殖をするもの。

R₁…根茎を長く引くもの, **R₂**…根茎の横臥するもの, **R₃**…根茎の直立するもの, **R₄**…不定芽を生ずるもの (Procumbent type or Layering type), **R₅**…独立根, 水根を有するもの (Monophyte)。

Introduction

In recent years there has been a marked increase of interest in the classification and distribution of the Pteridophyta.

The author has studied the pteridophyta of Kanagawa for many years, and in spite of the changeable state of the knowledge of these plants, has endeavored to understand them and learn their distribution.

This paper presents a cross section of the pteridophyta of Kanagawa, and is a record of all the author has been able to learn up the present day.

In order to understand the present-day concept of these plants, it is necessary to observe the various stages of change that this concept has undergone.

Present knowledge is, of course, the result of the hard work of early researchers. However, because of many errors, many concepts have changed or been proven false,

This paper is based on the surveys made by the author, on preserved specimens he has been able to examine, and on the literature he has judged to be of value. The paper could be considered a history of the Pteridophyta of Kanagawa.

Family and generic classification, as well as the order of presentation follows T. Namekata et Kurata: "An Enumeration of the Japanese Pteridophytes" (1961), with the addition of some new concepts published recently. Scientific names are presented in alphabetical order in families, genera, and species. The life forms and reproductive forms of each species are noted by abbreviations, as above.

II. 神奈川県産の種類とその分布

Classification and Distribution of the Pteridophyta of Kanagawa Pref.

1. Psilotaceae マツバラン科

Psilotum Sw. マツバラン属

- [1] *Psilotum nudum* (LINN.) GRISEBACH マツバラン (松村, 1884) (Fig. 1) E (Er. Et)
(e) **D₁R₃** 根はない。

鎌倉: 扇ヶ谷海蔵寺 (大谷茂, 1956.10.16 YCM)。小田原: 十字 (朝倉修一, 1954; 田代信二, 1958)。

Franchet et Savatier の日本植物目録 (1876) には横須賀附近で採取したという記録があるが、その後三浦半島での報告は全くない。

2. Equisetaceae トクサ科

Equisetum Linn. トクサ属

[2] *Equisetum arvense* LINNAEUS スギナ (松村, 1884) G(d)D₁R₁

横浜: 南区日野~平戸 (長谷川義人, 1956.8.5 YCM), 弘明寺 (同, 1956.5.3 YCM), 磯子区岡村 (同, 1956.3.27 YCM)。中郡伊勢原町石田 (逸見操, 1953.4.19 YCM)。丹沢: 蓑毛~ヤビツ峠 (倉田悟, 1956), その他川崎, 三浦, 江ノ島, 大磯, 箱根など各地の原野路傍土手などに普通。

[3] *Equisetum hyemale* LINNAEUS トクサ (松村, 1884) G(e)D₁R₁

足柄下郡橋町など栽培品として, また逸出したものとして各地に散見する。Fr. et Sav. の日本植物目録 (1876) に産地が横須賀附近となっているが自生ではなくて栽培品であろう。箱根金時山も (H・B 1913)* 自生は疑問である。

[4] *Equisetum palustre* LINNAEUS イヌスギナ (松村, 1884) G(d)D₁R₁

三浦: 久里浜 (大谷茂, 1953.9.3 YCM), 大楠曲輪子生石海岸 (同, 1953.9.6 YCM), 観音崎 (同, 1953.9.20 YCM), 野比 (同, 1953.10.12 YCM)。鎌倉: 七里ヶ浜霊光寺附近 (間瀬美保子, 1960.6.5 YCM)。西丹沢: 三保大仏 (大谷茂, 1956.7.22 YCM) など山地, 原野, 池沼縁, 水湿地に生ず。

[5] *Equisetum ramosissimum* DESFONTAINES

var. *japonicum* MILDE イヌトクサ (松村, 1884) G(e)D₁R₁

川崎: 登戸 (東邦大薬学科第 2 回卒業生, 1932)。横浜: 金沢区八ツ坂 (長谷川義人, 1957.7.7 YCM), 同, 釜利谷 (同, 1964.11.23 YCM)。三浦: 横須賀野比海岸 (大谷茂, 1954.7.26 YCM)。鎌倉: 七里ヶ浜 (間瀬美保子, 1960.6.5 YCM)。津久井: 城山 (歌川義男, 1955.9.18)。その他三浦半島, 足柄下郡橋町, 小田原飯田岡, 箱根湯本 (H・B, 1913) など河辺, 海辺砂地, 山間溪側砂礫地に生ず。

3. Lycopodiaceae ヒカゲノカズラ科

Lycopodium Linn. ヒカゲノカズラ属

[6] *Lycopodium cernuum* LINNAEUS ミズスギ (松村, 1884) Ch(e)L(de)D₁R₁

鎌倉: 建長寺裏山, 半僧坊道 (久内清孝, 1911.2.12, N-J.J.B 26 (8): 256)**。箱根: 大地獄 (Coll.?, 1884.8.22, T), 箱根 (Coll. ?, 1889.8.28, T), 箱根大涌谷 (牧野富太郎, 1914.5.25 no. MAK 32381 (3 点) 一子囊穗なし MHT), 箱根 (牧野, 1916 no. MAK 32382 (2 点) 一子囊穗あり..

* 箱根植物 (神奈川県植物調査会, 1913)

** Journal of Japanese Botany, Tokyo.

このことから秋季の採取品であろう MHT), 大涌谷 (久内清孝, 1951.2. — 牧野・松野両氏同行)。

東大にある上記箱根の標本は最古のものであるが, 何れも採集者名がない。久内先生はその筆蹟から推して矢田部良吉教授か大久保三郎助教授の採取品であろうと言われている。牧野富太郎先生はその後に採取されたのではないかと思われるが, 歴史・地理, 臨時増刊 “箱根” (1910) に牧野先生はヒナガヤツリの変種, コヒナガヤツリ *Cyperis hakonensis* FR. et SAV. var. *vulcanicus* FR. et SAV. を箱根大地獄の硫黄上のところで 1886 年に採取したとあるから, このときミズスギも採ったとも考えられるが, 牧野標本館に残っている 2 点の標本は, ずっと後の採取品である。何れにしても矢田部, 大久保, 牧野の 3 氏が, その頃相前後して採取されたようである。大涌谷における最古の記録は, 三好学: B.M.T 1: 116 (1887) であろう。しかしこれは東大標本による記録であって最初の発見はおそらく大久保三郎氏であろう。その後牧野先生は “相州箱根大涌谷のミズスギ全滅す” と題して, 相州箱根大涌谷の一部に從來ミズスギが一面に生じていたが, 大正 12 年 (1923) の大地震のとき, 地面の温度が急に下降し全部死滅してしまったと報じている (J.J.B 6-6, 1929)。現在は上記の場所には自生していないが, 近年須雲山阿原田部落より渡橋し右手地点に自生を見ると聞いている。しかし著者はまだ確認はしていない。

[7] *Lycopodium clavatum* LINNAEUS

var. *nipponicum* NAKAI ヒカゲノカズラ (松村, 1884) Ch(e)L(de)D₁R₂

横浜: 保土ヶ谷区市沢町 (内田光男, 1957)。北鎌倉: 今泉山麓, 不動より 1 軒程手前北側の崖 (小黒順造, 1954)。箱根: 大涌谷 (守矢淳一, 1950.3.10), 駒ヶ岳 (H・B, 1913)。その他大山, 丹沢など山足稍々陽地に生ず。

[8] *Lycopodium cryptomerianum* MAXIMOWICZ スギラン (松村, 1884) E(Et)(e)D₁R₃

大山 (秋山守, 1963.6.2)。丹沢: 塔ヶ岳より熊木沢ユースン小屋近くで (林弥栄・小島俊郎, 1954.7.14 YCM) 用木沢 (田代信二, 飯田和, 西尾和子, 1958.8.19 YCM), 蛭ヶ岳～桧洞丸 (秋山守, 1959.8.21 YCM), 織戸峠 (田代, 西尾, 1960.4.3), 諸久保沢 (田代・西尾, 1960.7.24), 蛙ヶ丸 (秋山守, 1958.8.21), ユースン (同, 1961.7.21)。箱根: 仙石湯 (B・H, 1913), 台ヶ岳 (福田助雄, 1957), 神山 (松岡宏輝・飯田和, 1959.5.16), 神山中腹道 (飯田和, 1959.8.4), 箱根神社 (国見卓, 1959)。箱根の大涌谷が古く知られていたが絶滅した。

[9] *Lycopodium obscurum* LINNAEUS マンネンスギ Ch(e)D₁R₁

大山。丹沢: 丹沢山～蛭ヶ岳, 世附 (林弥栄・外 3 氏, 1961)。箱根: 大涌谷 ((B.M.T, 1887)*, 駒ヶ岳 (H・B, 1913) などに報告がある。深山性。

[10] *Lycopodium Selago* LINNAEUS

var. *Miyoshianum* (MAKINO) MAKINO ヒメスギラン (三好 ex 牧野, 1898) Ch(e)D₁R₄

箱根: 二子山 (小田原グループ, 1957.8.18), 駒ヶ岳 (守矢淳一, 1956.8.20), 神山など高山性。

[11] *Lycopodium serratum* THUNBERG トウゲシバ (松村, 1884) Ch(e)D₁R₄

* The Botanical Magazine, Tokyo.

川崎：登戸（東邦大，薬学科第2回卒業生，1932）。横浜：帷子川流域（出口長男，1952），中区中里（長谷川義人，1955.12.25 YCM）。三浦：横須賀鴨居（大谷茂，1948.6.25 YCM），同，大楠山（小板橋，1966 YCM），逗子桜山～長柄（大谷茂，1954.12.2 YCM），神武寺（大谷茂，1959.8.5 YCM），逗子沼間（大谷茂，1959.11.22 YCM）。鎌倉：大仏谷戸（石渡宏，1960.3.18 YCM），北鎌倉（間瀬美保子，1960.4.18 YCM），大船（村上司郎，1963.8）。丹沢：札掛（倉田悟，1956）。箱根：元箱根・湖尻（H・B 1913）。その他大磯高麗山，大山，山北，湯河原などに見られる。

[11-a] *Lycopodium serratum* THUNBERG

var. *Thunbergii* MAKINO ホソバトウゲシバ（牧野，1898）Ch(e)D₁R₂

横浜：金沢区朝比奈（村上司郎・野間俊之，1957.12.28）。大山（林弥栄外3氏，1961）。丹沢：ユースン，札掛～塔ヶ岳～丹沢山～蛭ヶ岳，ヤビツ峠～札掛，世附（林弥栄外3氏，1961）。箱根：神山（守矢淳一，1951.8.8）。湯河原（長谷川義人，1956.6.10 YCM）。本種は根茎が横臥し，不定芽のでない高山性のもので，本県産の報告は相当あるが，注意を要するものである。母種トウゲシバは自生地によって相当変異するものである。

[12] *Lycopodium Sieboldii* MIQUEL ヒモラン（松村，1884）E(Et)(e)D₁R₄

奥湯河原（脇田圀輝，陣野一郎，1958.9.21）。奥湯河原は本種の日本における自生分布の東北限であって，飯田和氏はその後これを確認している（1959）。

4. Selaginellaceae イワヒバ科

Selaginella Linn. イワヒバ属

[13] *Selaginella nipponica* FRANCHET et SAVATIER タチクラマゴケ（松村，1886）Ch(e)L(de)D₁R₂

三浦：神武寺（久内清孝），（大谷茂，1958.6.13 YCM；同，1959.8.10 YCM）。箱根：（村上司郎，1957.8.8），湯本，大平台（H・B，1913），塔之沢左岸湯坂山（松野重太郎，1913）。その他，大山，丹沢，湯河原など。本種は横須賀附近が Type locality となっている。

[14] *Selaginella pachystachys* KOIDZUMI カタヒバ（松村，1884）E(Er)(e)D₁R₁

横浜：保土ヶ谷区希望ヶ丘（村上司郎，1965.8.20），南区六ッ川（長谷川義人，1956），金沢文庫（大谷茂，1954.7.9 YCM）。三浦：神武寺（大谷茂，1950.2.15 YCM）。大山（長谷川義人，1956.4.18 YCM）。愛甲郡愛川町中津溪谷（逸見操，1956.11.12 YCM）。丹沢：丹沢山，ユースン，世附，西沢，用木沢，白石沢（林弥栄外3氏，1961），タライゴヤ沢（西田誠・栗田子郎・大場秀章，1962.8.22），オバケ沢（秋山守，1960.5.2）。箱根：丸岳，冠岳（H・B，1913），畑宿（守矢淳一，1955.9.25），金時山麓（大谷茂，1961.3.31 YCM），湯本，箱根神社，湯河原一広河原（岩城潔，1961.12.26 YCM）。その他，津久井郡石老山，山北など。

[15] *Selaginella remotifolia* SPRING

var. *japonica* (Miq.) KOIDZUMI クラマゴケ (松村, 1886) (アタゴゴケ, 松村, 1884)
Ch(e)L(de)D₁R₁

川崎: 登戸 (東邦大薬学科第2回卒業生, 1932)。横浜: 帷子川流域 (出口長男, 1952), 手塚 (村上
上司郎, 1963.8.24)。三浦: 神武寺 (長谷川義人, 1951.5.13 YCM), (大谷茂, 1953. 1955. 1956
YCM)。江ノ島。大山。丹沢: 札掛〜塔ヶ岳・丹沢山・ユースン・世附 (林弥栄外3氏, 1961)。
道了山 (H・B, 1913)。愛甲郡媒ヶ谷。箱根: 神山 (守矢淳一, 1951.8.4)。湯河原: 日金山道 (長
谷川義人, 1956.6.10 YCM)。

[16] *Selaginella shakotanensis* (FRANCH.) MIYABE et KUDO ヒモカズラ (松村, 1886) (ヒ
メヒカゲカズラ, 牧野, 1897) E(Er)(e)L(de)D₁R₂

丹沢: 丹沢山竜ヶ馬場 (林弥栄外3氏, 1961)。この種は寒地性, 高山性のもので, 丹沢におい
ても稀産種に属する。

[17] *Selaginella tamariscina* (BEAUV.) SPRING イヲヒバ (松村, 1884) (イワマツ) E(Er)
(e)D₁R₃

津久井: 石老山 (斉藤照一, 1960.7.15 YCM)。丹沢: 札掛 (倉田恒, 1956), 塔ヶ岳〜ユース
ン・丹沢山・犬越路〜大室山・世附〜水ノ木・車沢・大山 (林弥栄外3氏, 1961), 玄倉川溪谷 (大
谷茂, 1955.8.11 YCM)。山北: 洒水滝 (遠藤将光, 1957.10.20 YCM)。箱根: 金時山, 丸岳 (H・
B, 1913), 二子山 (小田原グループ, 1957.8.18), 上二子 (守矢淳一, 1963.7.27), 湯本など。

[18] *Selaginella uncinata* SPRING コンテリクラマゴケ (花戸名, 翠雲草) Ch(e)L(de)R₂

横浜: 帷子川流域 (出口長男, 1952), 金沢文庫 (大谷茂, 1954.7.9 YCM)。三浦: 神武寺 (長
谷川義人, 1951.5.13 YCM), 同 (大谷茂, 1953.7.30 YCM; 同, 1955 YCM; 同, 1956.7.22
YCM)。鎌倉 光則寺 (石渡宏, 1960.9.5 YCM)。その他大船岡本・秦野蓑毛など。この種は中国
原産で逸出と思われるが, 上記のところではほとんど野生化している。葉面が紺色に照りかがやく。

[補] *Selaginella helvetica* LINNAEUS ニゾノヒメクラマゴケ Ch(e)L(de)R₂

本種が Fr. et Sav. の日本植物目録 (1876) に産地: 横須賀附近と発表してあるが, 誤りであろ
う。三浦半島には期待できないものである。

5. Isoetaceae ミズニラ科

Isoetes Linn. ミズニラ属

[19] *Isoetes japonica* A. BRAUN ミズニラ (松村, 1884) HH(e)D₁D₃

川崎: 登戸 (東邦大, 薬学科第2回卒業生, 1932)。横浜: 保土ヶ谷区今宿町 (内田光雄, 1957)
一現在宅地造成のため埋没, 同, 下川井町矢指谷 (内田光雄, 1965.10.11 YCM), 中区本牧三ノ

谷三溪園(大谷茂, 1964, 4, 14 YCM)。平塚市土沢沢吉瀉池一用水池(守矢淳一, 1963.6.30 YCM)。

6. Ophioglossaceae ハナヤスリ科

Ophioglossum Linn. ハナヤスリ属

ハナヤスリ属は葉形が単純で特徴をとらえにくいものである。はっきりした決め手がない。そのうえ非常に多型的で、変異の度合いがはげしい。それは土壌が湿潤であるか、乾燥しているか。柔らかい腐葉土か、固い粘土質か。砂地であるか、草地であるか。直射日光をうけるところか、樹林の暗いところに生育しているかなどによって葉形の変異があらわれるためである。つまり生育する場所の条件、土壌条件(水量と養分)と光の関係(陰葉と陽葉)によっておこる変異である。したがってこの生活環境を無視して単に葉形、脈理、葉質を基にした分類は不安定なものである。これからの野外観察はこの生育条件をよく調べることが必要であり、これを明示すべきである。ただ胞子の外皮における特徴はこの属においては安定したものである。

- [20] *Ophioglossum petiolatum* HOOKER コヒロハハナヤスリ (中井, 1926 B.M.T.) G(d) D₁R₁

三浦: 神武寺(大谷茂, 1958.6.28 YCM), 同(同, 1959.12.27 YCM)。鎌倉: 扇ヶ谷海蔵寺(間瀬美保子, 1959.12.6 YCM), 名越妙法寺(間瀬, 1961.12.17 YCM)。この種は裸葉に柄があり、網目隙はあらく、大きいもので、また地上部の生活期は最も永いものである。

- [21] *Ophioglossum thermale* KOMAROV

var. *nipponicum* (MIYABE et KUDO) NISHIDA ex TAGAWA コハナヤスリ (松村, 1886) G(d) D₁R₁

川崎: 登戸(東邦大, 薬学科第2回卒業生, 1932)。道了山(H・B, 1913), 同(飯田和, 1958.7)。小田原: 風祭貯水池(田代信二, 1958.5), 城趾(飯田和, 1958.6.20 YCM)。この種は好日性で、根は細く黄色色素を含んでいる。

- [22] *Ophioglossum vulgatum* LINNAEUS ハルハナヤスリ (行方, 1950) (オオハナヤスリ, 牧野, ヒロハハナヤスリ, 中井, 1926, B.M.T.) G(d) D₁R₁

横浜: 帷子川流域・上白根・希望丘・川島(出口長男, 1952)。三浦: 横須賀, 平作(小板橋, 1966 YCM); 葉山, 木古庭(大谷茂, 1959.6.28 YCM)。鎌倉: 十二所神社~六国峠(長谷川義人, 1964.4.29 YCM), 十二所~瑞泉寺谷(間瀬美保子, 1962.5.13 YCM)。大山・丹沢: 札掛, ユーシン, 世附(林弥栄外3氏, 1961)。二宮。足柄下郡橋町(田代信二, 1959.5.5)。小田原入生田。真鶴(朝倉修一, 1960)。湯河原(脇田園輝, 1960)。この種は裸葉の多くは無柄で、網目隙は細かく、基部は心臓形であって、地上部の生活期は短かいものである。

7. Botrychiaceae ハナワラビ科

Botrychium Swartz ヒメハナワラビ属

- [23] *Botrychium lunaria* (LINN.) SWARTZ ヒメハナワラビ (松村, 1884) (ヘビノシタ, 田中, 1871; アキノハナワラビ, 田中, 1871) (Fig. 2) G(d) D₁D₃

丹沢：三ノ峰（小島俊郎，1957.7 YCM 本県新産）。この種は 4~20 cm くらいの小形植物で担葉体は長く、その頂部から実葉と裸葉を生ずる高山性のものである。著者は富士山須走口 5 合目で採取したことがある（1940.7.24）。

Japanobotrychium Masam. ナツノハナワラビ属

- [24] *Japanobotrychium strictum* (UND.) NISHIDA ex TAGAWA ナガボノナツノハナワラビ（牧野・武田，1906） G(d)D₁R₃

横浜：保土ヶ谷区上川井（出口長男，1952.11.10 YCM）。三浦：横須賀，畠山（大谷茂，1957.6.16 YCM）。大山（田代・飯田・西尾，1957.7.7）。丹沢：丹沢山（府川勝蔵，1931），札掛附近（倉田悟，1956），ヤビツ峠～札掛，藤熊川流域スギ～ヒノキ植林下に豊富（大場秀章，1962），桧洞丸（田代・飯田・西尾，1957.8.1），ユーシン（秋山守，1961.7.21），ユーシン～玄倉（大場秀章，1962.8.24 YCM）。道了山（H・B，1913），同（飯田和，1956.8.12），同（大谷茂，1958.7.20 YCM）。山北：大野山（遠藤将光，1957.10.27 YCM）。足柄下郡橋町：上町（田代信二，1956）。箱根：仙石湯（H・B，1913），畑宿（守矢淳一，1955.9.24），台岳（飯田和，1957.8.17）。

- [25] *Japanobotrychium virginianum* (LINN.) NISHIDA ex TAGAWA ナツノハナワラビ（田中，1871） G(d)D₁R₃

川崎。横浜：港北区中山（府川勝蔵，1933.5.14），保土ヶ谷区帷子川流域（出口長男，1952），金沢区六浦（村上司郎，1959），同，朝比奈（村上・野間，1958.5.25）。三浦：横須賀，畠山（大谷茂，1957.5.19 YCM），逗子神式寺（大谷茂，1957.5.23 YCM；1959 YCM），二子山（大谷茂，1949.8.3 YCM；1955 YCM）。葉山長柄（大谷茂，1965.4.25），同，下山口（小板橋，1966.3.27 YCM）。鎌倉。大磯高麗山（守矢淳一，1952.6.1；1956）。大山。丹沢：ユーシン～桧洞（田代・飯田・西尾，1957），ユーシン（秋山守，1961.7.21），白井平（同，1961.7.21）。足柄下郡橋町上町（陣野一郎，1957）。箱根：丸岳（H・B，1913）。

Sceptridium Lyon オオハナワラビ属

- [26] *Sceptridium japonicum* (PRANTL) LYON オオハナワラビ（松村，1884） G(d)D₁R₃

川崎：登戸（東邦大，薬学科第 2 回卒業生，1932）。横浜：保土ヶ谷区帷子川流域（出口長男，1952），南区中里（長谷川義人，1955.12.25 YCM），同，弘明寺（同，1955.12.17 YCM），同，別所（同，1956.10.6 YCM）。三浦：横須賀，衣笠～大楠山（大谷茂，1956.4.22 YCM；同，1959 YCM），同，田浦（斎藤照一，1960.7.10 YCM），同，武山（大谷茂，1962.6.23 YCM），同，阿部倉（小板橋八千代，1965.12.13 YCM；同，1966 YCM），逗子；神武寺（大谷茂，1958.10.11 YCM），同，池子～神武寺（同，1955 YCM），同，桜山（同，1957.4.2 YCM），同，二子山（同，1955.11.6 YCM）。津久井：根小屋（吉川代之助，1965.9.19）。大山。丹沢：ユーシン（秋山守，1959.11.3）。足柄下郡橋町上町（陣野一郎，1957）。箱根畑宿（守矢淳一，1955.9.25）。奥湯河原（田代・飯田・西尾，1957）。

- [27] *Sceptridium minus* (HARA) NISHIDA ex TAGAWA ウスイハナワラビ（原，1933 J.J. B.） G(d)D₁R₃

箱根：箱根権現神社（岸田松若，1932.10.17 N-no. 39432—アカハナワラビ標本中）。岸田氏標本はアカハナワラビとしてあるが西田博士は本種であると言及している（1959 J.J.B.）。この種は本県の箱根と信濃の軽井沢および羽前の奥山寺に知られている稀産種である。この種は原博士によってオオハナワラビの変種として発表された（1933 J.J.B.）ブナ帯の小型ハナワラビであるがブナ帯に分布の本拠をもつ *Sceptridium multifidum* (GMEL.) NISHIDA ex TAGAWA アズサハナワラビ、ヤマハナワラビの羽片の頂片が鋭尖頭となり、深い歯牙縁または鋸歯縁となったもので田川博士は上記のように改名発表された（1958 J.J.B.）。

[28] *Sceptridium ternatum* (THUNB.) LYON フユノハナワラビ（松村，1884）（ハナワラビ，田中，1871） G(d)D₁R₃

川崎：登戸（東邦大，薬学科第2回卒業生，1932）。横浜：保土ヶ谷区上川井（出口長男，1952.11.10 YCM），磯子（長谷川義人，1956.10.6 YCM），戸塚（村上司郎，1963.8.20）。三浦：横須賀，池上清水川（大谷茂，1959.10.27 YCM），同，平作（小板橋，1966.3.1 YCM），同，大楠山（大谷茂，1959.11.8 YCM），同，阿部倉（小板橋，1966.1.19 YCM），同，田浦（守矢淳一，1955），逗子桜山（大谷茂，1954.10.3 YCM），神武寺（府川勝蔵，1933.6.18），葉山上山口（小板橋八千代，1950.10 YCM）。鎌倉。大山。丹沢：札掛・塔ヶ岳・ユージン（秋山守，1959.11.3），世附。足柄下郡橋町：上窪（田代信二，1956），小竹・上町（同，1957）。松田。山北。小田原。箱根：矢倉沢（H・B，1913），仙石原（守矢淳一，1953.8.26）。湯河原など。この種の葉は多型的で裂片は殆んど全縁のものから，かなり鋸歯の多いものまであり，羽片・小羽片の頂片も円頭鈍頭のものが多く，鋭頭のものも見られる。しかし葉に毛がないことでオオハナワラビと区別ができる。

[28-a] *Sceptridium ternatum* (THUNB.) LYON
var. *nipponicum* (MAKINO) NISHIDA アカハナワラビ（牧野，1916） G(d)D₁R₃

三浦：箱根芦の湖畔権現神社竹林（久内清孝，1916.7—戦災のため消失），箱根神社（松浦茂寿，1952）。奥湯河原（行方沼東，1957；田代・飯田・西尾，1957.11.3 YCM）。この種はかつてはオオハナワラビの変種と考えられ，または単なる一生態的紅変型といわれてきたものである。しかし葉の紅変は水分の不足による一時的なものでフユノハナワラビでも起る。フユノハナワラビに近いものといわれたのは行方沼東氏（1955）である。その根拠は，①翌年4月に枯死する，②孢子葉は11月下旬に枯倒する（オオハナワラビは翌年8月頃まで枯倒しない）ことからといわれている。フユノハナワラビの羽片の頂片が鋭尖頭になり，羽裂回数が減少し（3回羽状深裂程度），鋸歯縁の著しくなった（細かくて浅い）ものである。また葉形はフユノハナワラビに近く三出羽片の柄が長くて三出葉的である。また孢子の形質もフユノハナワラビ型である。

9. Osmundaceae ゼンマイ科

Osmunda Linn. ゼンマイ属

[29] *Osmunda intermedia* (HONDA) SUGIMOTO オクタマゼンマイ（本田，1930）（オオバヤシヤゼンマイ，田川，1948） G(d)D₁R₃

足柄上郡北足柄関場狩川 (西尾和子, 1959.7.19, オオバヤシャゼンマイ型)。箱根: 小塚山山麓 (飯田和, 1958.8.1, 2オクタマゼンマイ型), 須雲川 (倉田悟・田代信二, 1959.7.26, オオバヤシャゼンマイとゼンマイとの中間型)。この種はかつてはオクタマゼンマイ *Osmunda lancea* THUNB. form. *intermedia* (HONDA) TAGAWA としてヤシャゼンマイに似た型に, またオオバヤシャゼンマイ *Osmunda lancea* var. *latipinnula* TAGAWA としてゼンマイに近づいた型に各々名づけられたが, 両型の間には連続的の中間型が見られるので今では別種として扱わないことにしている。

[30] *Osmunda japonica* THUNBERG ゼンマイ (田中, 1871) G(d)D₁R₂

川崎。横浜: 南区弘明寺 (長谷川義人, 1953.8.17 YCM; 1956 YCM 実葉), 同, 別所 (同, 1956.4.28 YCM 実葉), 磯子屏風浦 (同, 1956.9.13 YCM 畸形葉), 六浦・戸塚。三浦: 横須賀平作 (大谷茂, 1954.4.2 YCM), 同, 佐野町 (同, 1962.5.9 YCM 畸形葉), 逗子神武寺 (逸見操, 1953.5.3 YCM; 大谷茂, 1955.6.2 YCM 畸形葉), 葉山木枯庭不動谷戸 (大谷茂, 1961.5.3 YCM 畸形葉)。江ノ島。大磯高麗山 (守矢淳一, 1957.4.21)。厚木七沢浅間山 (逸見操, 1960.5.1 YCM)。大山。丹沢: 札掛 (倉田悟, 1956)。足柄下郡橋町。箱根: 宮ノ下・二ノ平 (H・B, 1913), 早川・台岳・二子山・金時山。湯河原など各地。小羽片が更に羽裂し, 複雑化したものをシンゼンマイ (Hort. ex 牧野・根本, 1925) form. *divisa* (MAKINO) TAGAWA という。裂片の細いホソバゼンマイ var. *sublancea* NAKAI は区別する必要はない。

[31] *Osmunda lancea* THUNBERG ヤシャゼンマイ (田中, 1871) G(d)D₁R₂

川崎: 菅, 仙石大丸山谷 (大谷茂, 1921; 1933.4.15 府川勝蔵氏所蔵)。横浜: 帷子川流域, 白根・鶴ヶ峰 (出口長男, 1953 宅造のため絶滅したが出口氏庭内に移植したものは現存する)。津久井: 石老山 (大谷茂, 1925), 城山 (歌川義男, 1955.9.18), 相模湖 (大場秀章, 1960.4.29 YCM)。愛甲郡宮ヶ瀬村落合 (逸見操, 1956.8.1 YCM)。丹沢: 中津川 (大谷茂, 1955.8.3 YCM; 逸見操, 1957.7.7 YCM)。ユーシン, 玄倉川 (大谷茂, 1955.8.11 YCM)。箱根: 早川上流 (小田原グループ, 1957.8.16), 畑宿 (大谷茂, 1963.8.17 YCM), 小塚山下早川溪谷 (府川勝蔵, 1964.7.22)。

Osmundastrum Pr. ヤマドリゼンマイ属

[32] *Osmundastrum cinnamomeum* (LINN.) PRESL

var. *fokiense* (COPEL.) TAGAWA ヤマドリゼンマイ (松村, 1886) (ヤマドリシダ, 松村, 1884) G(d)D₁R₂

箱根仙石原 (沢田武太郎, 1935.5.28)。この種は上記仙石原字イタリの湿地中を貫流する小流畔の樹陰中で沢田武太郎氏によって昭和10年に県下最初の発見にかかわるものである (J.J.B., 1935)。箱根植物目録 (松浦浅寿, 1958) にも, この仙石原産が引用されているが, その後採取された報告はない。

10. Lygodiaceae カニクサ科

Lygodium Swartz カニクサ属

[33] *Lygodium japonicum* (THUNB.) SWARTZ カニクサ (田中, 1871) (ツルシノブ, 田中, 1871) G(d)L(te)D₁R₂

川崎。横浜：磯子（長谷川義人，1956.10.6 YCM），南区弘明寺（同，1955.11.8 YCM）。三浦：神武寺（大谷茂，1952.11.10 YCM；同，1959.9.24 YCM）。鎌倉。江ノ島。大磯高麗山（守矢淳一，1956.11.2）。津久井城山（歌川義男，1955.9.18）。大山。丹沢。足柄下郡橋町。箱根。湯河原など各地。

11. Gleicheniaceae ウラジロ科

Dicranopteris Bernh. コシダ属

[34] *Dicranopteris linearis* (BURM. f.) UNDERWOOD

var. *dichotoma* (THUNB.) HOLTUM コシダ (田中，1871) (Fig. 7) H(Mc)(e)D₁R₁

横浜：間門（伊達健夫，1948.1.8），西ノ谷善行寺（同，1946.1.10），金沢区朝比奈（野間俊之，1958.5.25）。三浦：横須賀，佐野；妙栄寺裏山（大谷茂，1950.9.7），同，鴨居（同，1949.5.20 YCM），同，馬堀（同，1954.12.7），同，坂本小学校裏山（田中すき子，1953.11.6），同，富士見町（小板橋，1966 YCM），同，田浦（斉藤照一，1959.7.25 YCM），同，佐原。同，北下浦長沢，逗子神武寺（大谷茂，1953.9.3 YCM；同，1954.12.7；同，1959.8.28 YCM；長谷川義人，1956.1.2 YCM），逗子山ノ根（大谷茂，1953.1.26 YCM）。鎌倉十二所東泉水谷戸（大谷茂，1960.2.4 YCM）。大磯高麗山（守矢淳一，1957.1.7）。丹沢：玄倉～野峨。小田原：水ノ尾，風祭。真鶴。箱根：箱根町～鞍掛峠～湯河原道（石田光治郎，1913），小涌谷（伊藤和貴，1913）。湯河原（大谷茂，1958.9.18 YCM）。

Gleichenia Smith ウラジロ属

[35] *Gleichenia japonica* SPRING ウラジロ (田中，1871) H(Mc)(e)D₁R₁

川崎：登戸（東邦大，薬学科第2回卒業生，1932）。横浜：根岸七曲り（久内清孝，1916），間門（伊達健夫，1949.12.26），保土ヶ谷区上川井（出口長男，1952.11.10 YCM；村上司郎，1964.11.28 YCM），同，下川井，矢指谷（内田光雄，1965.11.12 YCM），港北区三保町（同，1965.11.13 YCM），金沢区朝比奈（村上・野間，1958.5.25）。三浦：横須賀，佐野ビワ山・坂本教育研究所裏山（大谷茂，1951.7.16），武山砲台山中腹（同，1953.11.15），浅間富士～津久井（同，1959.12.17），虫山（同，1963.3.28），池上（小坂橋八千代，1965.12.10 YCM），阿部倉（大谷茂，1953.12.6 YCM），馬堀・野比五明山・小矢部～衣笠公園北斜面大群落，平作（大谷茂，1949.10.20 YCM），大田和扇山（赤星直忠，1962.3.4）。逗子桜山，沼間（大谷茂，1959.11.22 YCM），神武寺（大谷茂，1954.10.21 YCM；1959 YCM；長谷川義人，1956 YCM）。鎌倉：十二所東泉水谷戸（大谷茂，1960.2.4 YCM），北鎌倉（長谷川義人，1956.2.19 YCM）。大磯高麗山（守矢淳一，1961.1.6）。大山。丹沢：ユーシン（秋山守，1957.7.23），畦ヶ丸（同，1959.11.21），蓑毛（田代・飯田・西尾，1957），西丹沢大滝沢（飯田和，1959.11.22），世附・水ノ木。小田原：水ノ尾，早川，石橋，風祭（伊藤和貴，1913）。箱根：須雲川，畑宿（松野重太郎，1913），箱根町～鞍掛峠～湯河原道（石田光治郎，1913）。真鶴。奥湯河原（大谷茂，1957.11.10 YCM）。

12. Hymenophyllaceae コケシノブ科

Crepidomanes Pr. アオホラゴケ属

[36] *Crepidomanes insigne* (v. d. BOSCH) FU アオホラゴケ (牧野，1889) E(Er)(e)D₁R₁

横浜金沢区朝比奈 (村上・野間, 1958.5.25 YCM)。横須賀田浦 (粉山泰一, 1957; 大谷茂, 1959.7.23 YCM; 同, 1962 YCM; 斉藤照一, 1959.9.20 YCM), 神武寺 (中井猛之進, 1931.6.4), 池子菅ヶ谷 (大谷茂, 1957.9.22 YCM), 葉山長柄 (大谷茂, 1965.4.25), 同, 木古庭不動の滝 (小板橋, 1966.3.12 YCM)。丹沢: ユーシン (秋山守, 1960.6.26), 世附, 白石沢 (秋山守, 1960.6.12 YCM)。道了山。山北洒水滝 (大谷茂, 1957.10.20 YCM)。箱根 (石渡宏, 1958.5.5 YCM)。奥湯河原 (長谷川義人, 1953.10.25 YCM), 同 (田代・飯田・西尾, 1957), 同 (石渡宏, 1961.12.26 YCM), 同 (守矢淳一, 1965.1.3)。

Gonocormus v. d. Bosch ウチワゴケ属

- [37] *Gonocormus minutus* (BL.) v. d. BOSCH ウチワゴケ (田中, 1871) (マルバホラゴケ, 松村, 1884) E(Et)(Er)(e)D₁R₁

横浜金沢区朝比奈 (村上・野間, 1958.7.1)。三浦: 横須賀阿部倉 (大谷茂, 1954.1.15 YCM), 逗子神武寺 (大谷茂, 1962.6.15 YCM), 同 (守矢淳一, 1949.11.20)。大磯高麗山 (同, 1956.11.2)。大山男坂 (田代・飯田, 1957)。丹沢: ユーシン, 札掛, 桧洞など。道了山。箱根: 早川上流・台岳 (小田原グループ, 1957), 箱根神社 (伊藤知貴, 1913), 須雲川, 畑宿 (松野重太郎, 1913)。湯河原。

Hymenophyllum Smith コウヤコケシノブ属

- [38] *Hymenophyllum barbatum* (v. d. BOSCH) BAKER コウヤコケシノブ (松村, 1886) E(Er)(e)D₁R₁

大山蓑毛道 (田代・飯田・西尾, 1957)。丹沢: 札掛 (倉田悟, 1956), 一の沢考証林 (大谷茂, 1962.5.20 YCM), 桧洞 (田代・飯田・西尾, 1957), タライゴヤ沢 (西田誠・栗田子郎・大場秀章, 1962.8.22), 丹沢山, 蛭ヶ岳, ユーシンなど。道了山, 箱根畑宿, 二子山 (H・B, 1913), 金時山 (小田原グループ, 1957)。湯河原。

Mecodium (Pr.) Copel. ホソバコケシノブ属

- [39] *Mecodium oligosorum* (MAKINO) H. ITO キヨスミコケシノブ (牧野, 1899) E(Et)(e)D₁R₁

道了山 (伊藤洋・田代信二, 1956; 田代, 1958.7.22 YCM; 守矢淳一, 1963.11.11)。

- [40] *Mecodium paniculiflorum* (PLESL) COPELAND ヒメコケシノブ (伊藤, 1949) (フジョケシノブ, 松村, 1886) E(Et)(e)D₁R₁

丹沢: 丹沢山, 塔ヶ岳～ユーシン (林弥栄外3氏, 1961)。この種をその後西田誠氏は確認している (1964)。

- [41] *Mecodium polyanthos* (SW.) COPELAND ホソバコケシノブ (松村, 1886) E(Et)(Er)(e)D₁D₁

丹沢 (林弥栄外3氏, 1961); 札掛 (倉田悟, 1956), ヤビツ峠~札掛 (大場秀章, 1962.8.21 YCM), 札掛~塔ヶ岳, 丹沢山~蛭ヶ岳~松洞丸 (田代・飯田・西尾, 1957; 秋山守, 1960.6.21; 大場秀章, 1962.8.23 YCM), 西山峠, ユーシン (秋山守, 1960.6.4 YCM), 世附, 用水沢, 車沢など。大山。道了山。箱根: 畑宿, 二子山 (堀川美哉, 1960.10.10; H・B, 1913), 上二子 (守矢淳一, 1963.7.27), 台岳 (小田原グループ, 1957)。

[42] *Mecodium Wrightii* (v. d. BOSCH) COPELAND コケシノブ (松村, 1884) E(Er)(e) D₁R₁

大山蓼毛道~下社 (田代・飯田・西尾, 1957), 丹沢 (林弥栄外3氏, 1961); , 丹沢山~蛭ヶ岳~松洞丸 (田代・飯田・西尾, 1957; 秋山守, 1960.6.26), 用木沢 (大谷茂, 1958), 世附~水ノ木, 簗沢 (大谷茂, 1963.5.5 YCM), 源次郎沢 (大谷茂, 1959.7.28 YCM), ユーシン (秋山守, 1960.6.26)。道了山。箱根: 明神山, 台岳, 早川上流, 箱根神社, 二子山 (伊藤和貴, 1913), 元箱根 (松野重太郎, 1913), 金時山 (小田原グループ, 1957; 神社奥の院, 大谷茂, 1961.3.31 YCM)。湯河原。

Vandenboschia Copel. ハイホラゴケ属

[43] *Vandenboschia radicans* (Sw.) COPERAND

var. *orientalis* (C. CHR.) H. ITO ハイホラゴケ (松村, 1886) (ホラゴケ, 田中, 1871) E(Er)(e) D₁R₁

横浜: 南区弘明寺~別所 (長谷川義人, 1956.3.1 YCM), 金沢区朝比奈 (村上・野間, 1958.6.8 YCM)。三浦: 横須賀, 岩戸 (大谷茂, 1960.4.10 YCM), 田浦十三峠 (同, 1960), 衣笠城趾大谷戸川。逗子神武寺 (守矢淳一, 1949.11.20; 大谷茂, 1949.10.25 YCM; 同, 1955 YCM; 同, 1956 YCM; 同, 1959 YCM; 長谷川義人, 1956.1.2 YCM), 二子山谷。葉山木古庭 (大谷茂, 1954.2.6 YCM; 斉藤照一, 1959.6.2 YCM), 滝不動谷戸, 深山川。鎌倉天園 (石渡宏, 1960.10.9 YCM)。山北洒水滝 (石渡宏, 1961.11.12 YCM)。足柄下郡橋町羽根尾 (西尾和子, 1955), 同 (田代信二, 1956.6.5 YCM)。小田原入生田, 箱根, 湯河原など。神奈川県植物目録 (1933) にヒナホラゴケが逗子に産すと報告されているが, これは *Trichomanes amabile* NAKAI をいったもので, 逗子神武寺附近によくあるハイホラゴケの極めて小さい型につけられたのであってハイホラゴケと区別する必要はない。

13. Pteridaceae フラビ科

Adiantum Linn. クジャクシダ属

[44] *Adiantum capillus-veneris* LINNAEUS ホウライシダ (松村, 1886) (Fig. 8) H(e) D₁R₂

横浜: 根岸第3紀凝灰岩層 (久内清孝, 1908), 神奈川台町 (大谷茂, 1936.5.22-AH, 1936*), 金沢区六浦 (村上司郎, 1957), 金沢八景駅附近 (大谷茂, 1957), 朝比奈 (村上・野間俊之, 1958.4.13)。三浦: 横須賀長井, 京急浦賀駅構内 (石川芳明, 1965), 同 (小板橋八千代, 1966.1.21 YCM), 鷹取町 (石渡宏, 1965.8.29 YCM), 逗子 (村上司郎, 1965.8.9); 久木岩殿寺 (大谷茂, 1936.6.14 YCM), 神武寺 (長谷川義人, 1956.1.2 YCM; 大谷茂, 1959.8.10 YCM)。鎌倉厩ヶ

* Amatores Herbarii, Societas Herberia Orientali-Asiatica, Kōbe.

谷 (大谷茂, 1936.4.19; 1956; 守矢淳一, 1960.1.8), 佐介ヶ谷 (大谷茂, 1960.3.10 YCM)。江ノ島 (長谷川義人, 1950.10.29 YCM)。藤沢 (村上司郎, 1963.7.28)。何れのところにおいても群生し, 自生状態を呈しているが, 本来の自生ではなく逸出野生化したものである。

- [45] *Adiantum monochlamys* EATON ハコネシダ (牧野・根本, 1925) (ハコネソウ, 田中, 1871) H(e)D₁R₃ 生薬名, 石長生。

横浜金沢区朝比奈 (村上・野間, 1958.4.13), 六浦 (村上司郎, 1959), 戸塚 (同, 1963.8.23)。三浦: 横須賀西逸見 (小板橋八千代, 1966.1.11 YCM), 平作川上流阿部倉温泉谷 (大谷茂, 1953.12.6 YCM), 陣が原山田谷戸~中の谷戸 (大谷茂, 1954), 衣笠城趾大谷戸川, 深山川 (同, 1954), 前田川上流釜尻谷 (同, 1954), 葉山上山ロー下山川上流一大沢, 不動滝, ヤナンサク谷, 馬ノ背谷 (同, 1953), 田浦十三峠 (同, 1960), 畠山 (長谷川義人, 1950.11.19 YCM), 逗子二子山谷 (大谷茂, 1949.9.25 YCM)。神武寺 (大谷茂, 1953.8.15 YCM; 同, 1959.5.16 YCM; 府川, 1934; 村上, 1963)。鎌倉。厚木日向薬師 (逸見操, 1958.11.3 YCM)。大山 (村上, 1960.6.26)。大磯高麗山 (守矢淳一, 1956.12.2)。丹沢: 札掛 (倉田悟, 1956), 菩提峠 (逸見, 1956.11.5 YCM), 中津川 (村上, 1963.8.1), 塔ヶ岳タライゴヤ沢 (大場秀章, 1962.8.22 YCM), ヤビツ峠, ユーシン, 世附~水ノ木, 車沢, 桧洞など。津久井城山 (歌川義男, 1955.9.18)。山北: 大野山, 洒水ノ滝 (遠藤将光, 1957.10.20 YCM)。足柄下郡橋町。箱根: 塔ノ沢発電所 (松野重太郎, 1913) など。湯河原。

ハコネソウは必ずしも箱根に限って生ずるわけではなく各地の山地に見るのであるが, 元禄3年(1690)独乙人である Engelbert Kaempfer 氏が始めて長崎に来て, その翌年春, 和蘭貢使に随って江戸にゆく途次, この箱根山で, この一羊歯を見て, 婦人の産前産後に用いて薬功ありと教えしことからハコネソウが認められ, 帰国後同氏の著, 外国奇聞 (1712) に Fakkona Ksa と記載してあることからハコネソウの名が出来たのである。このように箱根は植物学上いろいろと歴史をもち多くの感興を覚えるのである。

- [46] *Adiantum pedatum* LINNAEUS クジャクシダ (田中, 1871) H(d)D₁R₃

川崎菅~生田 (大谷茂, 1921)。横浜: 上川井, 下川井, 上白根, 市沢 (出口長男, 1952.11.20 上川井産 YCM)。三浦: 葉山木古庭 (大谷茂, 1959.4.26), 逗子二子山谷 (大谷茂, 1949.9.25 YCM; 同, 1953 YCM), 同 (村上司郎, 1952.9.28)。鎌倉。大磯高麗山 (守矢淳一, 1952.11.16)。大山。丹沢: 札掛 (倉田悟, 1956), ユーシン, 桧洞, 世附, 水ノ木, 車沢, 長者舎。山北洒水滝 (遠藤将光, 1957.10.20 YCM)。足柄下郡橋町。箱根: 塔ノ沢 松野重太郎, 1913), 金時山 (小田原グループ, 1957), 早川上流, 台岳, 二子山など。湯河原 (村上司郎, 1964.6.2)。

Coniogramme Fée. イワガネゼンマイ属

- [47] *Coniogramme* × *Fauriei* HIERONYMUS イヌイワガネソウ (田川, 1939) G(d)D₁R₁

三浦: 逗子神武寺 (大谷茂, 1949.10.30 YCM)。奥湯河原 (飯田和・陣野一郎・脇田圀輝・石田幸雄, 1958.8.27)。この種はイワガネゼンマイとイワガネソウの雑種と考えられるものである。

- [48] *Coniogramme intermedia* HIERONYMUS イワガネゼンマイ (牧野, 1889) G(d)D₁R₁

横浜：保土ヶ谷区上川井（出口長男，1952—杉林伐木で絶滅）。三浦：横須賀，大楠山（山田友久，1961.11.23 YCM），田浦（大谷茂，1962），十三峠（同，1960.11.20 YCM），平作山田谷戸（同，1954.4.2 YCM）。逗子；小古瀬，桜山（大谷茂，1954.4.6 YCM），二子山谷（斉藤照一，1960.9.25 YCM），神武寺（大谷茂，1954）。葉山；長柄奥地（大谷茂，1953.5.17 YCM），木古庭（同，1953.12.18 YCM），堀ノ内一ノ谷（同，1961 YCM）。鎌倉。津久井。大山。丹沢：札掛（倉田悟，1956），ユーシン（秋山守，1960.6.26）。山北洒水滝（大谷茂，1961.11.12 YCM）。足柄下郡橋町上町。箱根：早川上流，箱根神社，二ノ岡（伊藤和貴，1913）。道了山（H・B，1913）。湯河原など。

イワガネゼンマイを葉面の毛の有無によって3品種に分けている。それは表裏とも無毛の狭義のイワガネゼンマイ *forma intermedia*，表面無毛だが裏面に短毛のあるウラゲイワガネ *forma villosa*，表裏とも短毛のあるチチブイワガネ *forma Nosei* である。しかし著者がおもうにチチブイワガネは表裏とも短毛があるばかりでなく，羽片の幅が広く，かつ短かく他のものと明らかに区別のつくものであって品種として認めてよいが，ウラゲイワガネはしいて分けるまでもないものである。

[48-a] *Coniogramme intermedia* HIERON.

form. *Nosei* KURATA チチブイワガネ（倉田，1955）G(d)D₁R₁

丹沢：札掛（倉田悟，1956），白石沢，（田代信二，1958.8.20 YCM），世附。この種は葉の表裏ともに短毛のあるもので，関東地方に多い。

[48-b] *Coniogramme intermedia* HIERON.

form. *villosa* (CHING) KURATA ウラゲイワガネ（本田，1957）G(d)D₁R₁

三浦：横須賀；田浦十三峠谷（大谷茂，1960.12.20 YCM），浦賀～馬堀（同，1959.12.4 YCM），大楠山（山田友久，1961.11.23 YCM），逗子桜山（大谷茂，1955.5.5 YCM），葉山；木古庭（同，1953.12.28 YCM），堀ノ内一の谷戸（同，1961.7.1 YCM）。鎌倉散在ヶ池（同，1960.12.18 YCM）。大山。丹沢。足柄下郡橋町小竹（田代信二，1957.10.29）。山北洒水滝（大谷茂，1957.10.20 YCM；斉藤照一，1958.8.23 YCM；守矢淳一，1961.11.12）。奥湯河原（田代・飯田・西尾，1957；大谷茂，1961.12.26 YCM）。この種は葉の表面は無毛だが，裏面には密に短毛のあるもので関東では典型品たる無毛のイワガネゼンマイよりも，むしろこの種が普通である。

[49] *Coniogramme japonica* (THUNB.) DIELS イワガネソウ（田中，1871）G(d)D₁R₁

川崎：登戸（東邦大，薬学科2回卒業生，1932）。横浜：帷子川流域；上川井，上白根，川島，仏向（出口長男，1952），南区永田（長谷川義人，1955.12.24 YCM）。三浦：横須賀田浦温泉谷戸（大谷茂，1962.6.24 獅子葉型 YCM），大楠山（山田友久，1961.11.23 YCM），逗子神武寺（大谷茂，1953.7.30 YCM；石渡治一，1951.8.7 YCM；長谷川義人，1956.1.2 YCM；村上司郎，1964.11.3）。鎌倉（府川勝蔵，1934.9.23）。大磯高麗山（守矢淳一，1956.12.2）。愛甲郡煤ヶ谷村湯出川（逸見操，1956.10.10 YCM）。丹沢ユーシン（秋山守，1960.6.26）。足柄下郡橋町上町，沼代，小竹。箱根：早川上流，湯本など。湯河原，その他。この種の若い葉には往々にして緑黄斑をあらわすことがある。

Dennstaedtia Bernh. コバノイシカグマ属

[50] *Dennstaedtia hirsuta* (Sw.) METTENIUS イヌシダ (田中, 1871) E(Ep)(e)D₁R₃

川崎: 登戸 (東邦大, 薬学科 2 回卒業生, 1932)。横浜: 南区中里 (長谷川義人, 1956.6.1 YCM), 金沢区六浦 (村上司郎, 1959), 戸塚 (同, 1963)。三浦: 横須賀大楠山麓, 逗子; 披露山 (千葉周郎, 1954.6.16 YCM), 神武寺 (大谷茂, 1959.8.23 YCM)。鎌倉: 円覚寺 (大谷茂, 1954.7.22 YCM), 本郷 (府川勝蔵, 1933.7.9)。大磯高麗山 (守矢淳一, 1954.10.15)。中津溪谷 (逸見操, 1956.8.16 YCM)。大山 (村上司郎, 1960.6.26)。津久井根小屋 (吉川代之助, 1965.9.19)。丹沢: 札掛 (倉田悟, 1956; 大場秀章, 1962.8.21 YCM), 山神峠 (大谷茂, 1961.8.27 YCM), ユーシン, 世附~水ノ木, 車沢, 桧洞。山北。足柄下郡橋町町屋 (田代信二, 1957)。箱根: 金時山 (守矢淳一, 1950.6.11; 小田原グループ, 1957), 畑宿 (大谷茂, 1963.8.17 YCM), 台岳, 二子山, 湯本 (H・B, 1913)。湯河原。

[51] *Dennstaedtia scabra* (WALL.) MOORE コバノイシカグマ (松村, 1886) H(e)D₁R₁

箱根駒ヶ岳山麓 (箱根神社裏山) 標高 780~790 m (石田幸雄・国見卓, 1960)。湯河原 (長谷川義人, 1951.6.3 YCM), 同 (朝倉修一, 1954.4.15 YCM), 日金山道 (長谷川, 1956.6.10 YCM; 大谷茂, 1951.9.23 YCM)。泉 (田代・飯田・西尾, 1957; 田代信二, 1958.8.4 YCM; 大谷茂, 1958.11.23 YCM)。

[52] *Dennstaedtia Wilfordii* (MOORE) KOIDZUMI オウレンシダ (田中, 1871) G(d)D₁R₁

川崎登戸 (東邦大, 薬学科 2 回卒業生, 1932)。横浜: 鶴見三ッ池 (府川勝蔵, 1934), 南区下永谷 (長谷川義人, 1957.7.14 YCM), 帷子川流域 (出口長男, 1952), 戸塚瀬谷 (村上司郎, 1965)。三浦: 逗子神武寺 (大谷茂, 1954.8.13 YCM), 同, 披露山 (千葉周郎, 1954.11.4 YCM)。鎌倉 (村上司郎, 1965.7.27), 葛原ヶ丘 (石渡宏, 1960.8.25 YCM), 円覚寺 (大谷茂, 1954.7.22 YCM)。大山二重滝 (田代・飯田・西尾, 1957)。丹沢: (村上司郎, 1953.8.17), 札掛 (倉田悟, 1956), ユーシン (秋山守, 1955.10.30), 桧洞沢 (田代・飯田・西尾, 1957.8.1; 大谷茂, 1961.8.28 YCM; 大場秀章, 1962.8.23 YCM), 長者舎~犬越路, 諸戸, タライゴヤ沢, 西沢, 用木沢, 白石沢, 水の木沢, 車沢, 勘七沢 (大谷茂, 1952 YCM), 玄倉 (大谷茂, 1955.8.11 YCM)。道了山 (飯田和, 1956.8.12)。箱根 (村上司郎, 1963.8.13), 畑宿 (大谷茂, 1963.8.17 YCM), 仙石原 (守矢淳一, 1952.8.8), 金時山 (小田原グループ, 1957), 宮ノ下 (H・B, 1913), 小涌谷 (松野重太郎, 1913), 箱根峠十二町坂 (同, 1913), その他湖尻, 早川上流, 台岳, 二子山に知らる。湯河原。

Hypolepis Bernh. イワヒメワラビ属

[53] *Hypolepis punctata* (THUNB.) METTENIUS イワヒメワラビ (松村, 1886) G(d)D₁R₁

三浦: 横須賀馬堀 (大谷茂, 1960.12.2 YCM), 逗子二子山谷 (大谷茂, 1949.9.25 YCM; 村上司郎, 1952.9.28)。丹沢札掛~タライ小屋沢標高 600 m (西田誠・栗田子郎・大場秀章, 1962.8.22 YCM)。小田原風祭 (朝倉・田代・飯田・西尾, 1957.7.17 YCM)。箱根: 畑宿 (大谷茂, 1956.8.22 YCM; 朝倉・田代・西尾, 1956; 飯田和, 1956.12.23 YCM)。この種が理科大学植物標本目録 (1886) に江の島が記録されていることは注意を要することである。

Microlepia Pr. フモトシダ属

- [54] *Microlepia marginata* (PANZER) C. CHRISTENSEN フモトシダ (田中, 1871) H(e)
D₁R₁ この属は常緑性といわれるが本県では冬に枯れることが多い。

横浜: 三ッ沢 (久内清孝, 1913), 金沢区六浦 (村上司郎, 1959), 同朝比奈 (同, 1958.4.13), 帷子川流域上川井, 下川井 (出口長男, 1952)。三浦: 横須賀; 大楠山 (大谷茂, 1953.11.29 YCM), 畠山 (同, 1953.12.5 YCM), 馬堀 (同, 1954.9.12 YCM), 田浦 (斉藤照一, 1960.7.25 YCM), 田浦温泉谷戸 (大谷茂, 1962.6.24 YCM), 衣笠大谷戸川, 深山川, 阿部倉温泉谷。逗子二子山谷 (大谷茂, 1949.9.25 YCM), 神武寺 (石渡治一, 1951.8.7 YCM; 大谷茂, 1954.7.28 YCM; 長谷川義人, 1955.12.4 YCM; 同, 1956 YCM; 大谷茂, 1957.7.25 YCM; 同, 1958 YCM; 村上司郎, 1961.11.3), 葉山: 木古庭 (大谷茂, 1953.12.30 YCM), 長柄 (同, 1953.5.17 YCM; 同, 1959 YCM)。鎌倉。大磯高麗山 (守矢淳一, 1956.12.2)。足柄下郡橘町上町・小竹。大山 (秋山守, 1964.8.11)。丹沢: ユーシンなど。箱根湯本 (H・B, 1913)。湯河原 (H・B, 1913)。

- [54-a] *Microlepia marginata* (PANZER) C. CHR.

form. *yakusimensis* (H. ITO) KURATA ケブカフモトシダ (伊藤, 1942) H(e)D₁R₁

三浦: 横須賀池上 (小板橋八千代, 1965.12.7 YCM), 同, 田浦十三峠 (西山清治, 1960.11.20 YCM), 逗子神武寺 (倉田悟, 1959.11.3), 同 (大谷茂, 1949.10.5 YCM; 同, 1953 YCM; 同, 1957 YCM; 府川勝蔵, 1934.6.10; 斎藤照一, 1957.8.10 YCM)。道了山 (朝倉修一, 1956; 石渡宏, 1964.12.29 YCM; 大谷茂, 1965.1.29 YCM)。箱根須雲川 (飯田和, 1956)。

- [54-b] *Microlepia marginata* (PANZER) C. CHR.

var. *bipinnata* MAKINO クジャクフモトシダ (牧野, 1926) H(e)D₁R₁

三浦: 横須賀田浦温泉谷戸 (大谷茂, 1962.6.24 YCM), 逗子神武寺海宝院裏谷 (大場秀章・大沢雅彦, 1961.9.23 YCM), 同 (府川勝蔵, 1939), 葉山堀ノ内一ノ谷 (大谷茂, 1961.7.1 YCM), 同, 大峰山北斜面 (寺島浩一, 1961.1.6 YCM; 大谷茂, 1961.7.1 YCM), 三崎諸磯二反田 (大谷茂, 1958.9.20 YCM)。真鶴 (牧野・松浦, ?), 同 (大谷茂, 1954.6.4 YCM; 村上司郎, 1963.8.18)。

- [55] *Microlepia pseudo-strigosa* MAKINO フモトカグマ (牧野, 1914 B.M.T.) (Fig. 3, 5)
H(e)D₁R₁

三浦: 横須賀; 馬堀 (大谷茂, 1954.12.7 YCM), 田浦温泉谷戸 (同, 1962.6.24 YCM; 1955.3.20 YCM), 同十三峠 (同, 1960.11.20 YCM), 逗子神武寺 (牧野富太郎, 1913.4.6; 同, 1920.9.14 YCM), 同 (大谷茂, 1949.10.30 YCM; 同, 1953 YCM; 同, 1955 YCM; 同, 1956 YCM; 同, 1958 YCM; 同, 1959 YCM; 同, 1961 YCM), 同 (長谷川義人, 1951.12 YCM; 同, 1956 YCM; 守矢淳一, 1953), 逗子沼間 (大谷茂, 1959.11.22 YCM; 石渡宏, 1959.11.30 YCM), 逗子二子 阿部倉山一下二子の南 (大谷茂, 1955.11.6 YCM), 逗子小古瀬 (大谷茂, 1958.8.12 YCM), 葉山; 長柄奥谷 (大谷茂, 1952.12.20 YCM; 同, 1953 YCM; 同, 1955 YCM; 同, 1959 YCM), 同, 長柄入口清澄山 (大谷茂, 1955.11.6 YCM), 同, 大峰山北斜面 (大谷茂, 1961.

7.1 YCM), , 三崎諸磯二反田 (大谷茂, 1958.9.20 YCM)。鎌倉天園 (石渡宏, 1960.4.10 YCM)。道了山 (山田, 1955; 石渡宏, 1964.12.29 YCM; 大谷茂, 1965.1.29 YCM)。真鶴 (守矢淳一, 1951.12.2; 同, 1957)。この種は分布の極限されたもので, 安房, 相模, 伊豆に見られるにすぎない。

Onychium Kaulf. タチシノブ属

[56] *Onychium japonicum* (THUNB.) KUNZE タチシノブ (田中, 1871) H(e)D₁R₁

川崎。横浜。三浦: 横須賀池上 (小板橋八千代, 1965.11.29 YCM), 逗子神武寺 (石渡治一, 1951.8.7 YCM; 府川勝蔵, 1933.6.18; 長谷川義人, 1955.2.4 YCM; 大谷茂, 1951.11.25 YCM; 同, 1959.8.23 YCM)。鎌倉。江ノ島。大磯高麗山 (守矢淳一, 1952.10.13)。厚木日向薬師 (逸見操, 1958.11.3 YCM)。大山。丹沢: 蓑毛〜ヤビツ峠 (倉田悟, 1956)〜札掛, ユーシン, 松洞, 世附など。山北洒水滝 (遠藤将光, 1957.10.20 YCM)。足柄下郡橋町。松田。箱根: 湯本旧道発電所 (松野重太郎, 1913) など, 真鶴。湯河原その他各地。

Pleurosoriopsis Fomin カラクサシダ属

[57] *Pleurosoriopsis Makinoi* (MAXIM.) FOMIN カラクサシダ (牧野, 1889) E(Et)(Er)(e)D₁R₁

丹沢白石峠〜畦ヶ丸 (秋山守, 1960.6.12 YCM)。箱根神山 (H・B, 1913)。奥湯河原: 広河原 (飯田和, 1957.11.3), 同 (守矢淳一, 1965.1.3 YCM)。伊豆湯河原: 泉, 中沢 (脇田圀輝, 1961.11.21 YCM; 同, 1961.12.10 YCM)。この種は常緑といわれるが本県では葉が夏に枯れることが多い。

Pteris Linn. イノモトソウ属

[58] *Pteris cretica* LINNAEUS オオバノイノモトソウ (松村, 1884) G(e)D₁R₂

川崎。横浜: 帷子川流域上川井 (出口長男, 1952.11.20 YCM), 南区永田 (長谷川義人, 1955.12.24 YCM)。三浦: 横須賀衣笠大明寺 (小板橋, 1966.2.7 YCM) など各地, 逗子神武寺 (大谷茂, 1949.10.18 YCM; 石渡治一, 1951.8.7 YCM; 逸見操, 1953.5.3 YCM; 長谷川義人, 1956.1.2 YCM)。鎌倉: 本郷 (府川勝蔵, 1933.6.9)。江ノ島。大磯高麗山 (守矢淳一, 1961.1.6)。愛甲郡煤ヶ谷村 (現・清川村) 湯出川 (逸見操, 1956.10.10 YCM)。大山。丹沢: 札掛 (倉田悟, 1956), ユーシン, 松洞, 世附など。山北洒水滝 (遠藤将光, 1957.10.20; 逸見操, 1958.8.23 YCM; H・B, 1913)。足柄下郡橋町。箱根: 金時山, 湯本 (H・B, 1913) など各地。湯河原その他。この種は常緑のシダであるが地域によつては冬枯れることがある。

[58-a] *Pteris cretica* LINNAEUS

var. *albo-lineata* HOOKER マツザカシダ (田中, 1871) G(e)D₁R₂

横浜: 金沢区六浦 (村上司郎, 1959)。三浦: 逗子二子谷, 横須賀鴨居観音崎 (大谷茂, 1954.7.14 YCM), 葉山, 上山口 (小板橋八千代, 1965.12.18 YCM)。江ノ島 (絶滅)。足柄上郡中井。小田原入生田。吉浜 (田代・飯田・西尾, 1957)。伊豆湯河原泉など。この種の栄養葉は中肋に沿

つてしばしば白斑があるので知られているが、白斑の有無に関係なくオオバノイノモトソウとは明らかに区別される。栄養葉の側羽片は少くて1~3対、長さの割に幅が広く鎌形にまがる。また葉脈がオオバノイノモトソウは葉縁に達するのに比し、この種は葉縁に達するのと達しないのがまじっている。このことから別種とする考え方に賛成である。

[59] *Pteris dispar* KUNZE アマクサシダ (田中, 1871) (Fig. 6) G(e)D₁R₂

横浜保土ヶ谷三ツ境 (出口長男, 1952—宅地造成で現地は絶滅したが、同氏は移植保存)。三浦: 横須賀前田川下流秋谷正行院前の崖 (大谷茂, 1954), 逗子神武寺 (大谷茂, 1949.10.15 YCM; 同, 1955 YCM; 石渡治一, 1951.8.7 YCM), 池子参道右側の谷 (大谷茂, 1955.2.18 YCM), 桜山 (大谷茂, 1955.2.17 YCM), 葉山: 長柄入口 (大谷茂, 1955.2.18 YCM), 二子阿部倉山 (同, 1955.11.6 YCM)。三崎: 諸磯二反田 (大谷茂, 1958.9.20 YCM), 油壺。鎌倉: 天園 (大谷茂, 1960.4.10 YCM), 今泉山 (同, 1963.3.28 YCM)。江ノ島 (絶滅)。大磯高麗山 (守矢淳一, 1952.10.12; 大谷茂, 1953.4.3; 府川勝蔵, 1958.9.12)。山北 (H・B, 1913)。入生田, 湯本, 箱根, 真鶴, 奥湯河原 (H・B, 1913; 大谷茂, 1958.11.16 YCM; 同, 1961.12.26 YCM)。

[60] *Pteris inaequalis* BAKER

var. *aequata* (Miq.) TAGAWA オオバノハチジョウシダ (松村, 1886) (Fig. 4)
G(e)D₁R₂

三浦: 神武寺 (大谷茂, 1954 現在絶滅), 木古庭不動の滝谷戸 (大谷茂, 1953.12.23 YCM; 同, 1954 YCM; 同, 1956 YCM; 斎藤照一, 1959.6.2 YCM; 小坂橋八千代, 1966.3.12 YCM), うまのせ谷 (大谷茂, 1957.9.15 YCM; 同, 1959 YCM; 同, 1960 YCM)。山北洒水滝 (伊藤和貴, 1913; 遠藤将光, 1957.10.20 YCM; 逸見操, 1958.8.23 YCM; 大谷茂, 1962.1.14 YCM)。箱根: 湯本旧道発電所 (松野重太郎, 1913), 畑宿 (府川勝蔵, 1934.7.8; 大谷茂, 1954.9.21 YCM; 同, 1956 YCM; 守矢淳一, 1955.9.25; 村上司郎, 1957.5.26)。奥湯河原 (長谷川義人, 1951.6.3 YCM; 大谷茂, 1957.11.10 YCM; 飯田・佐竹元吉・陣野・脇田, 1962.1.3)。

[61] *Pteris inaequalis* BAKER

var. *simplicior* TAGAWA オオバノアマクサシダ (松村, 1884) G(e)D₁R₂

川崎: 登戸 (東邦大, 薬学科2回卒業生, 1932)。三浦: 横須賀市田浦大作谷戸~温泉谷戸 (大谷茂, 1962.11.11), 葉山木古庭不動滝谷戸 (大谷茂, 1954.2.7 YCM; 斎藤照一, 1960.6.2 YCM), 同, うまのせ谷 (大谷茂, 1957.9.15 YCM; 同, 1959 YCM; 同, 1960 YCM)。山北洒水滝 (H・B, 1913; 秋山守, 1960.5.15; 大谷茂, 1962.1.14 YCM)。箱根湯本旧道発電所 (松野重太郎, 1913)。その他道了山, 湯河原に報告がある。前種とこの種は若いときは、ほとんど区別できないものである。また両種ともに三浦半島では地上部が冬に枯れる。葉山木古庭不動の滝谷戸は宅造のため近く前種とともに消失するとおもわれる。

[62] *Pteris multifida* POIRET イノモトソウ (田中, 1871) G(e)D₁R₂

川崎。横浜: 南区弘明寺 (長谷川義人, 1955.11.25 YCM), 同, 永田 (同, 1955.12.24 YCM)。

三浦：横須賀田浦（大谷茂，1959.10.23 YCM），同，阿部倉（小板橋八千代，1965.12.20 YCM），同，岩戸（小板橋，1965.1.21 YCM），逗子神武寺（大谷茂，1959.8.24 YCM）。鎌倉。江ノ島。大磯高麗山（守矢淳一，1952.10.10）。大山。丹沢：西丹沢（守矢，1957.10.27）。足柄下郡橋町。箱根。湯河原など各地。

- [63] *Pteris oshimensis* HIERONYMUS コハチジョウシダ（牧野，1896）（ハチジョウシダモドキ，田川，1959） G(e)D₁R₂
小田原風祭（朝倉修一・飯田和，1957）。

- [64] *Pteris Wallichiana* AGARDH ナチシダ（？田中，1871；松村，1884） G(d)D₁R₂

奥湯河原（飯田和，1959）。湯河原～泉の県境（脇田圀輝・陣野一郎，1958.11.16）。

Pteridium Scopoli ワラビ属

- [65] *Pteridium aquilinum* (LINN.) KUHN
var. *latiusculum* (DESV.) UNDERWOOD ワラビ（田中，1871） G(d)D₁R₁

川崎。横浜：鶴見三ツ池（府川勝蔵，1934），南区弘明寺（長谷川義人，1953.8.17 YCM），同，野庭（同，1956.9.6 YCM）。三浦：横須賀山中（大谷茂，1954.3.29 YCM），葉山木古庭（同，1954.3.29 YCM）。鎌倉。大磯高麗山（守矢淳一，1952.11.9）。大山。丹沢札掛（倉田悟，1956），中津溪谷（逸見操，1961 YCM）。足柄下郡橋町。箱根湯本，二ノ平（H・B，1913）。湯河原，その地各地。

Sphenomeris Maxon ホラシノブ属

- [66] *Sphenomeris biflora* (KAULF.) Y. AKASAWA（赤沢時之） ハマホラシノブ（松村，1886）（イワシノブ，田中，1871） H(e)D₁R₂

足柄下郡真鶴（松浦茂寿，1940；飯田和，1956；同，1957.11.10 YCM）。

- [67] *Sphenomeris chusana* (LINN.) COPELAND ホラシノブ（田中，1871） H(e)D₁R₂

横浜：鶴見三ツ池附近（鶴見高校生物部，1950），帷子川流域；市野沢（長谷川義人，1952.11.27 YCM），月見台，上白根（出口長男，1952），中区本牧（斎藤照一，1957.7.29 YCM），金沢区朝比奈（村上司郎・野間俊之，1958.6.29），戸塚（村上，1963.9.1）。三浦：横須賀馬堀（大谷茂，1954），同，観音崎（小板橋八千代，1966.1.8 YCM），同，諏訪神社（小板橋，1966.1.26 YCM）など，逗子神武寺（守矢淳一，1949.11.20；長谷川義人，1955.12.4 YCM；同，1956 YCM；大谷茂，1949.10.27 YCM；同，1959.9.28 YCM；村上司郎，1962.5.5），三崎城ヶ島（大谷茂，1949.5.5 YCM）。鎌倉：大船（村上，1963.8.20）。大磯高麗山（守矢淳一，1952.10.12）。津久井城山（歌川義男，1955.9.18）。丹沢。道了山（石渡宏，1965.1.29 YCM）。足柄下郡橋町。箱根湯本（松野重太郎，1913）。湯河原（H・B，1913），その他各地。

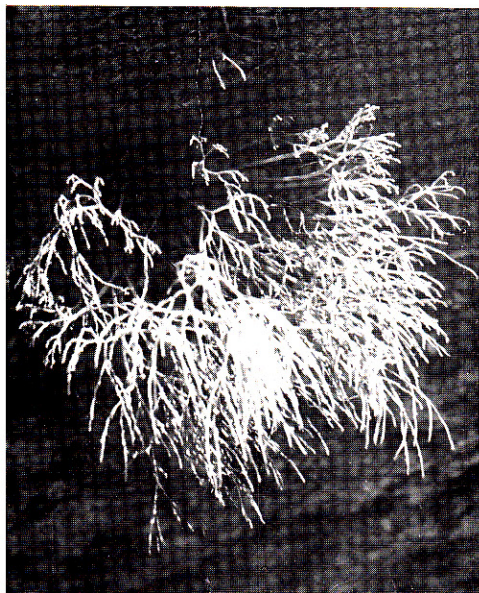


Fig. 1. *Psilotum nudum* (LINN.) GRISEBACH on Ohgigayatsu, Kamakura, Prov. Sagami. 鎌倉. 扇ヶ谷の岩上に着生するマツバラン (1956.10.16 撮影)。



Fig. 3. *Microlepia pseudo-strigosa* MAKINO, Jimmuji, Zushi, Prov. Sagami. 逗子, 神武寺のフモトカグマ (Coll. 牧野富太郎, 1920.9.14).



Fig. 2. *Botrychium lunaria* (LINN.) SWARTZ, Mts. Tanzawa, Prov. Sagami. 丹沢山塊, 三ノ峰のヒメハナワラビ (Coll. 小島俊郎, 1959.7)。



Fig. 4. *Pteris inaequalis* BACER var. *aequata* (MIQ.) TAGAWA on Kikoba, Hayama, Prov. Sagami. 葉山, 木古庭, 滝不動谷のオオバノハチジョウシダ (1954.1.12 撮影)。



Fig. 5. *Microlepia pseudo-strigosa* MAKINO on Taura, Yokosuka, Prov. Sagami. 横須賀, 田浦温泉合のフモトカヅマ (1962.6.24 撮影)。



Fig. 6. *Pteris dispar* KUNZE on Jimmuji, Zushi, Prov. Sagami. 逗子, 神武寺のアマクサシタ (1953.10 撮影)。

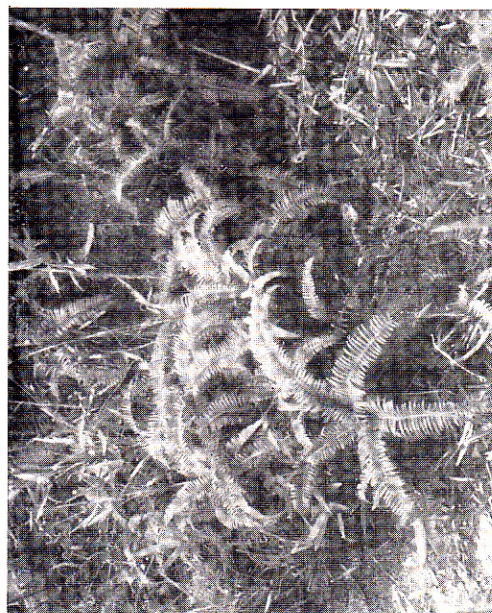


Fig. 7. *Dicranopteris linearis* (BURM. f.) UND. var. *dichotoma* (THUNB.) HOLTUM, on Makado, Yokohama, Prov. Musashi. 横浜, 岡門のユシダ (1949.11.19 伊達健夫氏撮影)。



Fig. 8. *Adiantum capillus-veneris* LINN. on Kanazawa-Hakkei, Yokohama, Prov. Musashi. 横浜, 金沢八景のホウライシダ (escape) (1957 撮影)。

Ceratopteris Brongniart ミズワラビ属

- [68]
- Ceratopteris thalictroides*
- (LINN.) BRONGN. ミズワラビ (田中, 1871) ThHHD
- ₁
- R
- ₃

川崎: 登戸 (東邦大, 薬学科 2 回卒業生, 1932)。平塚市中原奥の谷川一旧, 大野町 (守矢淳一, 1955.9.20)。小田原: 国府津 (国見卓, 1962), 鴨宮 (松岡輝宏, 1962), 富水 (松浦茂寿, ?)。この種は 1 属 1 種の 1 年生水生羊歯で明治から大正の初めころまでは横浜市港北区中山附近の鶴見川流域に見られた。また箱根植物目録には足柄の記録がある。上記平塚中原の地は 1965.9.4 現在宅地造成のため土盛りによって埋没絶滅したようである。

15. Davalliaceae シノブ科

Davallia Smith シノブ属

- [69]
- Davallia Mariesii*
- MOORE シノブ (田中, 1871) E(Et)(Er)(d)D
- ₁
- R
- ₁

横浜間門 (久内清孝, 1923.5.23 J.J.B)。三浦: 逗子神武寺 (大谷茂, 1953.5.16 YCM; 同, 1955 YCM)。中津溪谷 (逸見操, 1956.8.16 YCM), 大山 (守矢淳一, 1952.7.21; 村上司郎, 1960.6.26), 大山不動尊〜蓑毛道 (田代・飯田・西尾, 1957)。丹沢: 札掛 (倉田悟, 1956), 玄倉川溪谷 (大谷茂, 1955.8.11 YCM), 丹沢山 (村上司郎, 1965) などブナの木によく着いている。山北。小田原入生田。箱根: 須雲川 (小川里江, 1956.5.3 YCM), 小塚山, 早川上流, 箱根神社, 仙石湯 (H・B, 1913), 大沢 (H・B, 1913), 二子山 (小田原グループ, 1957), 箱根峠十二町坂 (松野重太郎, 1913), 奥湯河原 (田代・飯田・西尾, 1957)。

16. Plagiogyriaceae キジノオンダ科

Plagiogyria Mett. キジノオンダ属

- [70]
- Plagiogyria euphlebia*
- (KUNZE) METTENIUS オオキジノオ (牧野, 1894) H(e)D
- ₁
- R
- ₃

横浜: 保土ヶ谷区上川井 (出口長男, 1952—移植保存)。三浦: 逗子桜山, 神明社附近杉林 (佐藤晋, 1960.8.20 YCM)。小田原入生田。真鶴。湯河原 (長谷川義人, 1951.6.3 YCM), 伊豆湯河原泉。

- [71]
- Plagiogyria japonica*
- NAKAI キジノオンダ (田中, 1871, ヤマソテツを含む) H(e)D
- ₁
- R
- ₃

小田原入生田, 箱根畑宿 (大谷茂, 1963.8.17 YCM), 湯河原, 伊豆湯河原泉。

- [72]
- Plagiogyria Matsumureana*
- MAKINO ヤマソテツ (松村, 1886) H(d)(r)D
- ₁
- R
- ₃

丹沢: 塔ヶ岳 (石渡宏, 1959.7.29 YCM)。